

(社)徳島県労働者福祉協議会

# 中央LSCニュース

発行 徳島中央ライフサポートセンター

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1

TEL・FAX 088-623-4105

E-mail [chuou-lifeh@utopia.ocn.ne.jp](mailto:chuou-lifeh@utopia.ocn.ne.jp)

<http://www1.ocn.ne.jp/~chuou-lf/>

## 《ゆとり宣言フェスティバル 2010 イベント報告》

### みかん狩り・運動会・バーベキュー (中山まき)

11月3日(水)文化の日、天気も良く早朝は肌寒かったが正午を過ぎると暑いぐらいの気候に恵まれ、恒例のミカン狩りとバーベキューを勝浦町星谷運動公園付近の勝浦川周辺、井戸端塾ミカン園で開催しました。

これは、ゆとり宣言フェスタ行事の一環であり、約10年前から徳島と東部地協が主催していたイベントでゆとり行事の中で最大の参加数を誇る大イベントです。

今年度からは、連合徳島中央地域協議会・徳島中央ライフサポートセンター共催、四国ろうきん徳島支店協賛で開催し、徳島地区だけではなく、北部・中部地区協の方々にも声をかけ、一時落ち込んでいた参加数も700人に増えました。また、親子で楽しむことができるイベントとして新たにミニ運動会も実施しました。運動場のように整備された空間ではなく原っぱでしたので、スピードを競う競技は控え、誰もが参加できるパン喰い・

ラムネ飲み競争の親子リレー、玉入れ競技の2種目を行いました。パンとラムネの魅力に惹かれたのか大勢の親子連れが参加し、タッチする地点で子供に合図する親、親に声をかける子供など、終始歓声が上がって熱い闘いとなりました。

子どもさんはうれしそうにパンをくわえて走ったり、大人は飲みにくいラムネ飲み挑戦し心から楽しんでくれました。玉入れは、親子20人が1チームになり、5チームが参加しての激戦になりました。競技の後は、それぞれ賞品や参加賞をもらって笑顔でみかん狩り・バーベキューに分かれて楽しく過ごしました。



### 第14回健康ウォーク (中山まき)

10月31日(日)、大神子海岸において、徳島中央ライフサポートセンターと徳島県勤労者福祉ネットワークの共催で「健康ウォーク」を実施し、大人、子供合わせて54人が参加しました。

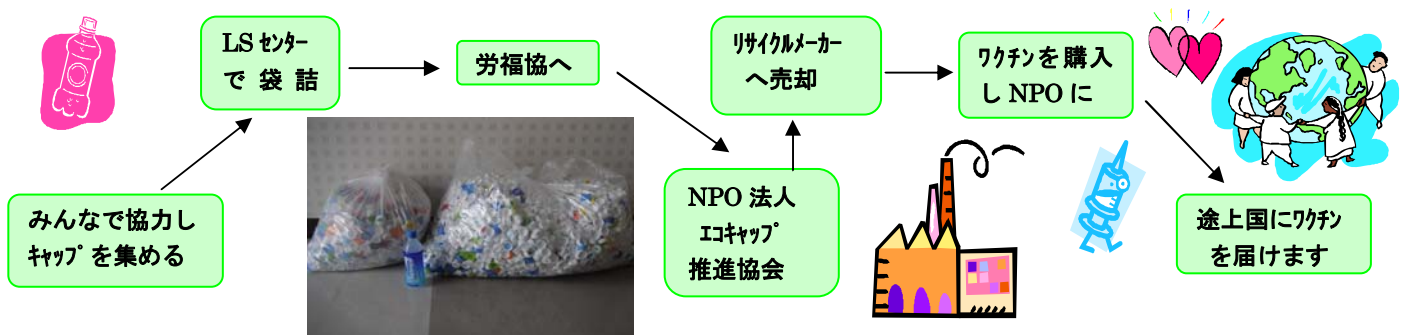
一時は、台風14号が襲来し、開催が危ぶまれましたが、当日は運良く台風がそれて曇り日となりました。



ました。

コースは日峰大神子広域公園駐車場をスタートし、大神子岬の尾根を歩き、7ヶ所の展望台をスタンプリーして出発地点に戻る約5Kmの行程です。道は整備されて歩きやすいコースですが、アップダウンが激しくなかなか歩き応えがあります。9時に全員が一斉にスタートしましたが、二つ目の展望台を過ぎるころには、すでに先頭と後部には大きな差ができました。アップダウンでは、体力の差がはっきり出るようです。まだ、紅葉は見ることはできませんでしたが、展望台からの景色は最高で、家族連れで楽しむにはお勧めコースだと思います。11時には全員無事帰着し、軽食や参加賞をもらって楽しい半日を過ごしました。

## 徳島中央ライフサポートセンター エコキャップ回収のながれ ~ご協力に感謝致します~



## 日本女性会議2010きょうと (藤原有城)

2010年10月1日～2日の2日間、国立京都国際会館で日本女性会議が開催されました。「女性への暴力」と題した分科会では、岡山県で女性診療クリニックを運営している上村講師が実際に受けた相談の内容を聞くことができました。

近年増加しているDV(ドメスティックバイオレンス)は、妻や彼女に深刻なトラウマを与える暴力として取り上げられています。また、最近では、高校生や大学生などの若い世代におけるデートDVの存在も明らかにされています。デートDVとは、彼と彼女との関係が対等でなくなった場合、一方が自分の都合に合わせた無理ばかりを言っても、それがお互いの間では通用してしまうような関係をいいます。そして、その関係を保つために①束縛の暴力②心の暴力③性的暴力④金銭的暴力⑤身体的暴力といった暴力が使われるのです。

私はデートDVという言葉を知り初めて耳にし

が、私自身実際体験したことや、友人から受けた相談など、どれも日常茶飯事に起きている話でした。

長く交際を続けるには、相手の嫌がることはしないように、自分も相手を大切にする関係を築いていくことが大切だということを学びました。また、友人から相談された際、以前より良いアドバイスができると思います。

これらを参考にし、次世代へ暴力を引き継がないようにするために、一歩ずつ前に進めていこうと思います。



## いま「協同」を拓く 2010 全国集会 in 四国

今回で14回目を迎える『いま「協同」を拓く2010全国集会 in 四国』が、〈つながり〉を希望の絆に～四国から発信しよう～生命が育ち、「地域」と「公共」を拓く協同の力～と題して11月13～14日の2日間、全国から約1500人が参加し、高松市の「サンポートホール高松」をメイン会場にして盛大に開催されました。

オープニングイベントでは、本県から「スペシャルオリンピック日本・徳島」が阿波踊りを披露し、喝采を浴びました。

開会では、協同集会実行委員会協同代表である徳島県労働福祉協議会の久積会長が四国4県を代表して次のように挨拶をされました。

今、四国は旬であり、高知はNHKで放映されている土佐の坂本竜馬や岩崎弥太郎を輩出し、徳島は大正・昭和にかけて貧民救済運動に一生を捧げた賀川豊彦、香川には讃岐うどんがある。また、今年はずーとマザーテレサ生誕100年にあたり、来日時に「今こそ、分かち合う愛を」と説かれたが、今我が国では「長寿大国日本」と言われながら、所

在の分からない老人が続々と判明し、愛のない「無縁社会」の実態が浮かび上がったなどと述べられました。

次に、セッション「公共を市民が創る」～協同労働の必要性と可能性を語る～では、報告者のワーカーズコープ春日事業所の森千華氏が、児童センターの運営から見てきた課題として、不登校の子や文字が書けない子など学習が遅れている子の子育て支援をやりながら、子育て支援と若者支援は繋がっている、若者の支援をやらないと自分たちの支援は完結しないと気付いたこと。

ワーカーズコープ埼玉就労支援事業所の小澤真さんは、6年前から協同労働にかかわっており、今は生活保護を受けている人の自立支援を行っている。失敗を自己責任と押し付けるのではなく、つまづいてもそれを支えてくれる社会が必要だと感じていること。

協同労働法制化市民会議副会長の島村博氏からは、社会と繋がりを持つのはラジオのみで、人と人との繋がりを欠いて生きている人たちがたくさんいる、これを称して「無縁社会」という言葉が使われていると思う。

人と人との関係は「絆」と表現している。絆は人と人とがしっかり結び合っている状況をいう。

絆を再現するには、自立した個人が連帯しあうことで真に自立しあえる社会を作ること。働くことを通じて人と人、人と社会がおりなされること、それゆえに協同労働の協同労働法制定を求めてきたと述べられました。



### 暮らしなんでも無料相談

専門のアドバイザーと連携して、あなたの暮らしを応援します！  
ひとりで悩まないで、一緒に解決の糸口を見つけましょう！

◇ 法律相談 ◇ 一般相談 ◇ 金融・保険相談 ◇ 労働相談 など